

NEWS RELEASE

Chugoku Bureau of Economy, Trade and Industry
<http://www.chugoku.meti.go.jp>



皆さんの「チャレンジ」を応援します！
経済産業省
中国経済産業局

平成31年2月5日

エネルギー対策課長 増本 勲
TEL(082)224-5741
FAX(082)224-5647

平成30年度 省エネルギー一月間 中国地区表彰式を開催します

当局、一般財団法人省エネルギーセンター中国支部及び中国地方電力使用合理化委員会は、省エネルギー活動の一層の推進を図り、エネルギー利用の効率化を進める観点から、2月の「省エネルギー一月間」行事の一環として、「平成30年度 省エネルギー一月間 中国地区表彰式」を以下のとおり、平成31年2月12日（火）にメルパルク広島で開催します。

表彰式では、省エネルギーに関して功績が極めて顕著な個人、事業者等を中国経済産業局長等が表彰します。

また、当日は、引き続き同会場で「平成30年度エネルギー使用合理化シンポジウム in 広島」を開催します。

※政府は、昭和52年から2月を省エネルギー一月間と定めています。

1. 平成30年度 省エネルギー一月間 中国地区表彰式

(1) 日時：平成31年2月12日（火）11:00～12:00

(2) 場所：メルパルク広島 6階 「平成」
(広島市中区基町6-36)

(3) 主催：中国経済産業局
一般財団法人省エネルギーセンター中国支部
中国地方電力使用合理化委員会※

※中国地方電力使用合理化委員会

中国地域の自治体、経済団体、学識経験者、電力事業者等で構成し、中国5県及び兵庫・香川・愛媛各県の一部を含む中国電力（株）の電力供給区域内の工場、事業所その他の電力の需要場所における電力の合理的使用並びに活用の促進を図ることを目的として活動している。

(4) 表彰の種類及び内容（受賞者は別紙参照）

① 中国経済産業局長表彰

エネルギー管理功績者 8名

工場等で永年にわたり省エネルギーを推進し、その功績が極めて顕著な者を中国経済産業局長が表彰。

エネルギー管理優良事業者等 5件

省エネルギーに大きな成果をあげ、他の模範となる事業者等を中国経済産業局長が表彰。

② 一般財団法人省エネルギーセンター中国支部長表彰

省エネ推進功労者 11名

工場等で省エネルギーを推進し、その功績が顕著な者を（一財）省エネルギーセンター中国支部長が表彰。

③ 中国地方電力使用合理化委員会委員長表彰

電気管理優良者 1名

電気に係る省エネルギーを推進した個人を中国地方電力使用合理化委員会委員長が表彰。

2. 平成30年度エネルギー使用合理化シンポジウム in 広島

(1) 日時：平成31年2月12日（火）13：30～16：30

(2) 場所：メルパルク広島 6階 「平成」
（広島市中区基町6-36）

(3) 定員：250名

(4) 参加費：無料

(5) 内容：

- ・「企業力を高める省エネルギー活動について」
（東京電機大学 名誉教授 高村 淑彦氏）
- ・「省エネルギー政策の動向について」
（資源エネルギー庁 省エネルギー課）
- ・工場・事業場における効果的な省エネ取組事例の紹介
 - ① 三菱電機株式会社 福山製作所
 - ② 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

(6) 申込み方法

- ・当局ウェブサイトの省エネルギー施策のページから申込書をダウンロードのうえ、ファックスまたはメールで「平成30年度エネルギー使用合理化シンポジウム in 広島」運営事務局へ申し込む。

省エネルギー施策ページ

<http://www.chugoku.meti.go.jp/event/enetai/190111.html>

運営事務局 委託事業者 株式会社アシスト

FAX：082-541-5889

E-mail：h30-sympo@assistinc.co.jp

(7) 主催：中国経済産業局

【問い合わせ先】

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

担当：増本、船田、舟木

TEL：082-224-5741 FAX：082-224-5647

平成30年度 エネルギー管理功績者及び優良事業者等中国経済産業局長表彰

【エネルギー管理功績者】

(50音順)

氏名	所属
内田暢彦	一般財団法人中国電気保安協会 山口支店 保安部
岡田聡	マツダ株式会社
尾形公貴	カウテックスジャパン株式会社
片山哲也	岡山積水工業株式会社
高松博昭	西部石油株式会社
中道悟	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所(福山地区)
宮本幸浩	株式会社トクヤマ 徳山製造所
矢頭陽治	一般財団法人中国電気保安協会 山陰支店 保安部

計8名

【エネルギー管理優良事業者等】

(50音順)

事業所名	所在地
イオンモール株式会社 イオンモール倉敷	岡山県倉敷市水江1
キングパーツ株式会社 本社工場	広島県福山市御幸町下岩成879-1
西部石油株式会社 山口製油所	山口県山陽小野田市西沖5
デリカウイング株式会社 広島工場	広島県廿日市市宮内工業団地2-5
三菱電機株式会社 福山製作所	広島県福山市緑町1-8

計5事業者等

平成30年度 省エネ推進功労者一般財団法人省エネルギーセンター中国支部長表彰

(50音順)

氏名	所属
笠井英充	西部石油株式会社 山口製油所
清重かず正	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所(倉敷地区)
佐々木竜彦	西部石油株式会社 山口製油所
沢村哲也	瀬戸内共同火力株式会社 技術部 倉敷共同発電所

さん ほん ちく のぼる 三 本 竹 昇	広島ガス株式会社 備後工場
にの みや まし 二 宮 仁	マツダ株式会社
は だに かず み 波 谷 和 美	マツダ株式会社
み やけ はる ゆき 三 宅 賢 之	J F E スチール株式会社 西日本製鉄所 (福山地区)
やま もと まさ ひで 山 本 政 英	株式会社トクヤマ 徳山製造所
ゆ ば てる お 湯 場 照 雄	瀬戸内共同火力株式会社 技術部 福山共同発電所
よし だ まさ はる 吉 田 雅 治	J F E スチール株式会社 西日本製鉄所 (福山地区)

計 11 名

平成 30 年度 電気管理優良者中国地方電力使用合理化委員会委員長表彰

【個人の部】

氏 名	所 属
もり わき たつ し 森 脇 立 志	一般財団法人中国電気保安協会 山陰支店 米子営業所

計 1 名

【事業者の部】

該当なし

中国経済産業局長表彰(エネルギー管理優良事業者等)受賞事業者の先進的な取組

事業者名	先進的な省エネ取組
<p>イオンモール株式会社 イオンモール倉敷</p>	<p>BEMSの導入・活用し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各フロアや負荷別のエネルギー使用状況を把握・分析、空調の集中制御設定にデータを活用。 ・店舗内温度・外気温度を確認、状況を見ながら外気導入量を調整。 ・冷水設定温度及び水冷パッケージサーモ設定を外気温の変化に合わせて逐次調整。 ・チラーユニット冷水ポンプインバーター設定値60Hz→55Hzに変更。 <p>これらの取組等により、店舗運営状況に応じたフレキシブルな対応を実施している。</p>
<p>キングパーツ株式会社 本社工場</p>	<p>①計測システムを導入し、エネルギー使用量の見える化を行った。 (溶解炉、熱処理炉、加工機、エアコンプレッサ、空調機単位といった細かな電力計測[50箇所]を実施)</p> <p>②計測したデータを分析し、溶解炉・熱処理炉の運転パターンを製造品目ごとに把握しアイドルタイムの抑制や夜間へのシフトを行い、負荷平準化と省エネルギーとなる生産計画の策定に活用している。</p>
<p>西部石油株式会社 山口製油所</p>	<p>①重油直接脱硫装置にある水素ガスを循環する高圧・大容量の圧縮機駆動源を蒸気タービンから可変速電動機へ変更することで圧縮機の効率を改善した。</p> <p>②ボイラ給水の加熱、蒸留塔への廃熱回収および加熱炉で使用する燃焼空気の加熱等の低温廃熱を回収することで熱損失の削減を行った。</p> <p>③精製装置から生成される副生ガスからの水素回収量を増加することで、水素製造装置の最小稼働を引き下げ、消費エネルギーの削減を行った。</p>
<p>デリカウイング株式会社 広島工場</p>	<p>①デマンド監視装置を設置し、警報発報時は館内放送により、各部署で所定のデマンド対策を行うよう指示している。</p> <p>②ユニバーサルライン(マルチグラフモニタ)を導入し、消費電力・使用水量等56箇所を24hr計測。また、同システムで、設備の稼働状況39箇所を24hr監視。 *消費電力測定には、電力量センサーを使用し、パルス取り込み。</p> <p>③無線式のデータロガーを使用し、上記以外の消費電力・設備稼働状況・使用水量・室温等56箇所を24hr自動記録。 *この温度データ結果により、加熱調理室空調チラーの設定を適時手動で変更している。</p> <p>④ユニバーサルラインシステムを使い①項の警報発報時、事務所への警報表示及び一部事務所の空調自動停止(デマンド監視残時間中はロックされ運転できない)等の制御を行っている。</p>
<p>三菱電機株式会社 福山製作所</p>	<p>①FEMS(工場棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造ラインごとに常時計測システムを設置して、生産原単位及びエラー情報をリアルタイムに把握分析し、エラーが発生した際に早期対応を行うことで生産原単位向上を図っている。 ・製造ラインの停止情報を基に、照度低減や空調設定温度変更を行う等製造ラインの稼働状況に連動したユーティリティ制御を行うことにより、非生産時の無駄なエネルギーを低減。 <p>②BEMS(事務所棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロア・負荷別のエネルギー使用状況を把握・分析し、空調の集中制御設定等にデータを活用。 ・室内CO2濃度により、ロスナイ(全熱交換式換気装置)の換気風量を調整。 <p>③廃熱回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで排出されていた蒸気ドレンを回収し、ボイラ給水予熱を行うことにより大幅な省エネ効果を得られた。